

株式会社ジェイコムイースト かながわセントラル局

2018 年度 放送番組審議会 議事録

2018 年度の放送番組審議会は、2019 年 2 月 22 日(金)にかながわセントラル局 3 階会議室で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

網代 宗四郎 様	伊波 武則 様	栗原 茂明 様
坂本 文彦 様	星野 俊江 様	

事業者側から局の現況報告、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(網代会長による進行)

◆デイリーニュースについて

委員 未加入の人はコミュニティチャンネルを見られないので、公共施設にモニター等設置して見てもらうのはどうか。また、そのモニターでそのまちごとに編集した地域番組を流しても良いのではないか。

事業者 現在モニター設置はないが、J:COM サービスは、大和・綾瀬・海老名の各市役所で導入済み。今後も広げていく方針。また、未加入者は地域情報アプリ「ど・ろーかる」でデイリーニュース等見ることが出来る。

委員 取材内容は行政などから依頼されたものが多いのか。あるいは J:COM 独自で取材しているのか。

事業者 行政からの依頼は全体の 2~3 割程度。7 割は J:COM で情報収集し取材している。

事業者 一般の方からの情報提供として「ど・ろーかる」の投稿を増やしニュース等で活用したい。特に有事の際に活用できるよう、プロモーションを強めたい。

◆地域情報の取り上げ方について

委員 スポーツというと、野球やサッカーなどを取り上げることが多い。他のメディアが放送している競技を取り上げるのではなく、他のスポーツでも良いのではないか。また、子どもたちの将来、未来を考えると、スポーツだけでなく文化活動も幅広い世界がある。J:COM は公共的視点で創造的社會を作れるようアシストしていく必要がある。

委員 野球だけでなく、もっといろいろなスポーツも取り上げてみてはどうか。今の若い世代は野球やサッカーばかりではない。もっと違うコンテンツがあるはず。

事業者 高校野球放送への視聴者の反応は良い。現在、アンパティサッカー等のパラリンピック競技にも注目しており、取材している。今後、これまで取り上げていないような競技も取材していきたい。

委員 地域の歴史を掘り下げる番組などは地元の人が興味を引くのではないか。

委員 まちおこしを頑張っているひと。新たな取り組みをしている人に焦点をあてた、神奈川県観光協会が主催する「かながわ観光大賞」を取り上げてみてはどうか。

◆企画番組・特別番組について

委員 座間の大風は全市民上げてのお祭りで、交流の場にもなっている。子どもから大人まで幅広い世代の多くの人が携わっているのでぜひ特別番組として放送してもらいたい。また、「かながわ駅伝」については、選手層の厚い政令都市と比べ、座間はなかなか上位入賞を果たせない。下位チームだと放送されないので、何か取材ポイントを絞るなどして下位チームを取り上げる工夫ができないか。

委員 地元の人がもっと気軽に出演できる番組があると良い。例えば自分たちで番組を作り、放送したい人もいるのではないか。

委員 「激アツ！ 街かどタブレット大作戦」で学校は取り上げられないか。農業高校など、地元地域に知られていないこともあるはず。

事業者 学校からの中継はこれまでしたことがない。いろいろな部活動もあるので、ぜひ検討したい。

◆災害時の放送について

委員 有事の際は情報をどのように取り上げるのか。災害緊急番組等を放送するのか？

委員 災害時の医療情報や生活情報は取り上げるべき内容。ラジオ等に比べ、放送は遅れると思うが、ぜひ伝えてほしい。

事業者 定期的に災害放送の訓練をし、有事の際の準備をしている。実際に通常編成を切り替えて災害放送するかどうかは、状況により判断する。

事業者 通常放送とは別に、文字での緊急し字情報で速やかに送出することを実施している。また、緊急地震速報端末サービスなども提供している。

◆その他の要望・意見等について

委員 テロップでエッジをつけたもの等、見にくいものがある。読みやすいように工夫してもらいたい。

委員 地域のさくら通りはユニバーサルデザインの緑道作りをした。障害を持った人たちも一緒になって学びあい、教えあうようになればと考えている。ぜひ放送を通じて伝えていただければ。

以上、委員の皆さまからのご意見ありがとうございました。

以上